

竹田維持だより

2013年12月24日
国土交通省
佐伯河川国道事務所
竹田維持出張所
第14号



菅生小文化財愛護少年団のみんな(12月11日撮影)



今年も菅生ごみ0作戦part2
地域のために32年!!
が行われました

はじめに

みなさんは「菅生小文化財愛護少年団」をご存知でしょうか？当団は竹田市立 菅生小学校の全校児童で構成されています。活動内容は大きく3つあり、①「学校内にある古代住居の保全」②「ねぎの子供神楽の継承」③「ごみ0大作戦」を年間を通じて行っている元気いっぱい少年団です。

その活動歴史は長く、なんと結成されたのは今から32年前（昭和56年）だそうです！（しかも清掃活動は少年団結成以前から行われていたそうです）

結成当時は100人いた団員数も現在は約1/3の34名と減少している中、文化の保全や継承、清掃活動に頑張っています。そして平成18年に先生を含めた総勢89名で団体名、「竹田市立 菅生小学校」として道守会員に登録されました。

今回は、道守会員「竹田市立菅生小学校」の活動の一つである「菅生ごみ0大作戦」をご紹介します。

ごみ0作戦とは？

ごみ0大作戦とは、竹田市戸上く小塚地区の3.9km区間の道路清掃美化活動を行っております。

ごみ0大作戦にはパート1とパート2とあり、パート1は5月に道路清掃を主に、パート2については11月に道路清掃の他、ねぎの神社と七つ森古墳群の清掃活動を行っています。今年も11月29日にパート2が行われました。当日は、日頃より国道沿線の美化活動を行っていたらいてる道守会員「中九州横断道路」の早期完成を願う女性の会、「(株)高山組」、「(株)高成産業」の3団体の皆さんの他、「学校評議員さん」、「友岡建設(株)」、「竹田市環境衛生課」、「佐伯河川国道事務所、竹田維持出張所」が参加して清掃作業を行いました。

木枯らしが吹き、時折冷たい雨の降る中での作業でしたが、今回も残念ながら道路や茂みの中にたばこの吸い殻や空き缶などのゴミが多数捨てられてました。けれど、まるで宝物を拾うかのように競い合って拾う子供達の姿が印象的でした。活動を終えた児童からは、「たばこの吸い殻を目的にいい所に捨てるマナーの悪い大人がいる。そんな大人にはなりたくない」と、「ゴミがたくさん拾えてよかった」、「文化財がきれいになってよかった」という意見をきくことができました。

こういった子供達の活動は沿道のごみだけではなく、ポイ捨てと



ごみ発見♪



あ！また落ちてる3' (●●)



掃いてもきりないよ〜 (>_<)



ねぎの神社きれいになったよ〜 (*^o^)/\ (^-^*)

作者が後日取材に伺ったところ、先生から「子供達に豊かな自然を守っていただく事を伝えたいのでこの行事は続けていきたい」というお話を伺いました。子供達の頑張る姿の背景には、こういった先生の想いがあることを実感しました。最後に快く取材に応じてくださった校長先生並びに教頭先生、本当にありがとうございました。



こんなに集まりました♪

いう行いをする「大人の心のごみ」も拾ってくれているのだと思います。菅生小の児童をはじめ先生の皆様、そして今回活動に参加された皆様、本当におつかれさまでした！

音楽の聞こえる道路が復活しました！！

国道57号線で、車を走らせていると滝廉太郎作曲の「花」が聞こえていたのはご存知でしょうか？よく、滑り止めや居眠り防止などの目的で舗装に溝があつて、そこを走るとガーツと音がします。この溝の間隔を調整することによって音階を作り、音楽を奏でていたのです。

→大分県の玄関口である竹田市に入ったことをドライバーの皆様は知っていたため、平成18年度に施工されたのですが、長年の劣化により舗装にひび割れが生じ、補修工事を行ったために溝が消えていたのですが、11月に溝掘り工事をを行い、音楽を奏でる道路がここに復活しました。

今回の溝掘りは周囲に騒音を出さないよう幅を小さくしているため、以前より大きな音ではありませんが、大分県を代表する作曲家が手掛けた音楽が流れることよって、「地域活性化のPR、居眠り防止や交通事故の低減」につながることを期待しています。

雪氷対策 ～冬の道路の安全のために～

雪氷対策って何？

阿蘇に近い竹田市菅生地区の国道や豊後大野市犬飼バイパスの橋梁の路面は、毎年冬の季節になると凍結や積雪による通行障害が起こりやすくなります。国土交通省では、日々万全の路面状態を保つために「雪氷対策」を行っています。気象協会から送られてくる予測表や道路上に設置された気象観測機器から送られてくる気温・路面温度などのデータ、さらに道路ライブカメラのリアルタイムな映像など、さまざまな道路情報が毎日集められ、出張所ではこれらの情報をもとに、的確な雪氷対策を決定し、作業を行っています。

どういった作業をするの？

最も重要なのが路面の凍結を未然に防ぐことです。深夜早朝に路面凍結の恐れがあると判断した場合には、凍結防止剤（塩化ナトリウムや塩化カルシウム）を路面に散布し、路面に残った雪や水分が凍りつくのを防ぐようにしています。散布作業は迅速さが要求されますが、**散布車は時速**

40キロ程度でしか行えません。作業中ははななるべく一般車両が作業車を追い越すことのできる機会を作るなど、皆様にご迷惑をおかけしないよう努めております。

ドライバーが注意することはあるの？

冬季の走行は安全走行がまず第一です。滑り止め機能のあるタイヤの履き替えやタイヤチェーンの携行に心掛けてください。

また、雪が降る中でお出かけの際は最新の道路情報のチェックをお願いします。道路情報については「日本道路交通情報センター」で問い合わせることができます。他にも佐伯河川国道事務所ホームページで道路ライブカメラの画像を見ることが出来ます。こちらもお出かけの際は参考にしてください。

作業中は何かとご不便をおかけするかと思いますがご協力をお願いします。道路ライブ画像の見方はコチラです



- ①インターネットから佐伯河川国道事務所ホームページをアクセス
<http://www.qsr.mlit.go.jp/saik/>
- ②赤枠の「道路ライブ画像」をクリック



- ③「道路ライブ画像」をクリックすると大分県南部、西部の地図がでるので見たい地域の地域名（緑色の箇所）をクリック

- ④クリックした地域のライブ画像が表示されます。

私たちは、道路を安心・安全・快適に利用できるように地域住民の皆さまと向き合いながら維持管理を進めてまいりたいと考えております。ご意見・ご要望などございましたら、**お気軽に竹田維持出張所までお問い合わせ下さい。**

住所：竹田市大字玉来字上の迫1162-2
TEL：0974-63-2542

